



労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、就業規則に定め差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置し事務所にハラスメント防止の徹底について掲示している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5											16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●	・外部講演会等に参加し、労働安全衛生講習会を実施している。 ・メンタルヘルス(心の健康)を確保するために、職場での心理的安全性(恐怖や不安を感じることなく、安心して発言・行動できる職場環境)実現に向けた管理職教育や啓発活動を実施している。				3												8.8		
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●	・従業員(正社員・契約社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行っている。						5.5											8.5 10.2 10.3	
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●	・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き改革への取り組み、有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。				3		5.5											8.5 8.8 10.3	
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●	・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や資格取得の奨励金制度があり各種資格の取得を奨励している。 ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を実施している。					4	5.5											8 9	
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●	・毎日現場と月1回の会議で交通事故等への注意喚起を行っている。 ・現場で毎日ラジオ体操を行い、健康増進への取組を促進している。 ・従業員の健康管理のため健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。				3													8	17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●	・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・【予定】令和4年10月までに、障がい者や外国人の雇用を予定している。					4.4	5.1 5.5												8.5 10.2 10.3 16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●	・熱中症対策等も考え時差出勤や現場への直行直帰等を導入するなど、新しい働き方に対応している。 ・熊本県や熊本市、業者との打ち合わせについてはウェブ会議、また集合して行う場合は会議室の窓開けなどを徹底している。				3													8	9.1 11 12
20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●																		8	9.1 11 12	
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●	・【予定】令和4年10月までに、プライト企業の認定申請の取り組みを継続的に行う。				3	4												8	9 12	

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・エコアクション21を取得している。 ・ISO9001を取得している。 ・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。	3.9									11.6	12.4		14.1	15.1											
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・簡易計算シートやエコアクション21の取り組みにより使用量を把握しその削減に取り組んでいる。 ①エコドライブの実践 ②タイヤ空気圧のチェックにより余計なガソリンの使用をしないよう努める ③重機は不使用時のアイドルストップの徹底 ④電力は不使用時・昼休みの消灯の徹底 ⑤エアコンの設定温度(夏28℃、冬21℃) ⑥使用機械は排出ガス規制対策型 ⑦【予定】令和4年10月までに、太陽光パネルの設置予定 ⑧【予定】令和4年10月までに、社用車についてはHVやEV車に移行予定												13													
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・事業活動温暖化対策計画制度に基づく計画書を提出している。 ・機械については環境に配慮し排出ガス規制対策型を使用している。 ・エコアクション21を取得している。 ・【予定】令和4年10月までに簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、社用車を、全てHV・EV車とし、CO2排出の抑制に取り組む。	2.4											12.4	13	14	15										
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・ロードクリーンボランティアを通じて緑地や水辺の整備など、生物の生息・生育地の創出に取り組んでいる。 ・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に努めている。 ・環境に配慮した材料を通じて、生物多様性の保全に努めている。														14	15										
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・現場、事務所共に分別の徹底を行っている。 ・再生用紙の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・環境に配慮した材料を通じて、生物多様性保全に努めている。 ・事務所における資源利用の削減や再利用を推進している。							9.4				12.2 12.4 12.5			14.1	15										
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・水土里ネット主催の水源かん養に取り組んでいる。 ・雨水については現場内での利用を実施している。 ・洗車時の高圧洗浄機の使用により節水に努めている。 ・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・事業所内設備に節水器具を使用している。	2.4										11.5			14.1 14.2 14.3	15		17								
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・エコマーク品やグリーンマーク品の優先購入や詰め替え可能商品を購入することにより、グリーン購入率の向上に努めている。 ・エコアクション21を取得している。 ・再生用紙利用を推進している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15									
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		1	2												6.4			12.3	14	15	17					
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	・ロードクリーンボランティアを通じて地域の緑化活動に参加している。 ・オフィスの壁面緑化や植栽に取り組んでいる。												11.6 11.7			13.1 13.3	15		17							
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	・【予定】令和4年10月までに、太陽光パネルや蓄電池を設置し、オフィスの節電に取り組む。																	7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.5	13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●	・持続可能な森林の経営・管理に努めている。 ・熊本県産材の利用を推進している。 ・【予定】令和4年10月までに、植樹等の環境保全活動への取組みを開始する。																	6	9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13	15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●	・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。																	6.1 6.3 6.6		11.3 11.4 11.5	12.2	13	15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																						12.2 12.5		14		
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●																								9.4	11.2	13.1 13.3
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																			7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.6 11.a	12.8	13			17.17	

